

本能まちづくりリニュース

第11号 平成13年12月5日発行

本能まちづくり委員会
委員長 西嶋直和

まちなかを歩く日 公開工房ツアー開催

本能まちづくり委員会副委員長中村光雄

昨年に引き続き『歩いてくらせる街づくり』の一環として本能学区も去る17・18の両日公開工房ツアーを地域の皆様のご協力により開催致しました。昨年と違い本年は本能小学校を使用出来ずメイン会場を本能公園に移し、公開工房ツアーを中心に、会場にお茶席を設け、地域の子供達の描いたフラッグで飾り、昨年とは又ひと味違った設営でお客さまをお迎えいたしました。



中村副委員長

本年度は染の工房にはこだわらず学区内にある伝統の技を紹介すべく多業種の皆様に御協力をお願いし、22の工房を公開していただく事が出来ました。又、両日安西前連合会長の御協力によりシミ落とし教室を自治会館において開催させていただきました。当日東は横浜、西は平戸から、200名の参加者があり、皆様が目的をもって工房ツアーに来られ、職人の技のすばらしさやこの地域にこれだけの工房があり脈々とその枝を守っておられることに驚きと賞賛の声をあげられ、我々一同改めて

本能学区のすばらしさを認識致しました。工房の皆様の御協力をいただけますかぎり、この催しを続けて、地域の皆様や多くの市民の皆様に本能学区の素晴らしさを発信していきたいと思っております。

本能まちづくり委員会も現在地区計画の方針案を策定中で、近々区民の皆様に方針案をお示し致したいと思っておりますので、御意見等をお聞かせいただきたいと存じます。本能まちづくり委員会は毎月1日(土、日の場合は翌月曜日)に本能自治会館で開催しております。委員の方でなければ参加出来ないという委員会ではありませんので、まちづくりに興味のある方、まちづくりに一言という方等区民の皆様の御参加をお待ちしております。最後になりましたが、心よく工房を公開していただいた皆様、朝早くから夜遅くまでお手伝いいただいたボランティアの皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

「まちなかを歩く日」開催される

～歩いて暮らせる街づくり・京都まちなか再発見～

平成13年11月16・17・18日の三日間、歩いて暮らせる街づくり推進会議の主催で、京都市が推進する「歩いて暮らせる街づくり」の一環として「まちなかを歩く日」が、南北は四条通から二条通、東西は河原町通から堀川通の間で実施されました。これは、京都の都心を、もっと歩いて楽しいまちにしたい、その思いを凝縮して、週末に多彩なイベントに参加して、京都を再発見して、まちなかの魅力を味わってもらうために開催されました。

本能学区でも、本能まちづくり委員会のメンバーが中心となって、大勢



ツアー出発風景

のボランティアの人達と一緒に、11月17日・18日の両日、本能公園を拠点として「おいでやす、染めのまち本能」と、銘打った公開工房ガイドツアーや、本能自治会館での、卓越技能士・安西圭之助氏による「家庭で落とせるシミ落とし体験教室」が無料で開催されました。

当日、本能公園は、地域の子供たちが製作したアートフラッグで飾られ、学区内の京染めに関わる家々には、染めの工程ごとに5つのグループに色分けされた、緑・紺・紫青・朱色の小旗が掲揚されました。

公開工房ツアーの参加者には、着物姿のボランティアによる抹茶の接待や、着物姿での参加者には、さらにスナップ写真がプレゼントされました。



会場風景

今年度の公開工房ツアーでは、従来の染めに関する工房以外にも、伝統ある老舗や、数々の職人の技も紹介されました。

期間中、烏丸以西では本能学区の「おいでやす染めのまち本能」の他、「歩いて見つける歴史とくらし」(歴史や暮らしの資源を訪ね歩くウォークラリー)、「鉾の道・まちなか美術館」(新町通りをのぼりで飾る)、「文遊回廊・京の町家を訪ねて」(新町通界隈の京町家6軒を公開する)、「祇園囃子と京町家の明かり」(祇園囃子と町家格子の明かりとの、音と光のコンチェルト)、「五彩の茶会」(五つの茶会の開催)、「中京堀川東ふれあいフォーラム・もてなし往来三条通」(電動セニアカーでの散策や個性的な手作りのイスを活かした憩いのスポット・交流空間の提供)、「五色の辻市」(三条通でのフリーマーケットの開催)などの多彩な催しが行われました。

これより先、11月4日元本能小学校校庭で、福井恵子さんの指導のもとに、子供たちの手でアートフラッグの製作が行われました。

11月10日には、本能公園で大阪府立生野壘岬高等学校和太鼓部とセネガルとカ



フラッグの製作風景

メルーンのパーカッションによる演奏のあと、若竹作業所の和紙でお面をつくり、ほのぼのとした風のなか、できあがったフラッグをそよがせてパレードを行ないました。



パレード風景



当日飛び入り大歓迎

本能まちづくり委員会の次回開催日

平成14年1月15日(火)午後7時より

ばしょ: 本能自治福祉会館2階 小川通蛸薬師下ル

公開工房ツアーに参加された人のアンケートから

- ▶ いつも通ってる道に、こんなに職人さんが頑張っているのがわかった。(中京区 50代 男性)
- ▶ 車で何回か通っていますが、こんなお店があったのかと改めて知った催でした。(京都市内 60代 男性)
- ▶ 普通のお宅だと思っていたところが、工房だった。(中京区 30代 女性)
- ▶ 表から見たら気付かないような工房が多くて驚きました。(京都市内 20代 女性)
- ▶ 普通の家がそのまま仕事場・工場になっているのが興味深かった。(京都市内 50代 女性)
- ▶ それぞれの工房、親子で継承がなされているようでホッとしました。(京都市内 50代 女性)
- ▶ どれもよかったが、家紋を描くところがすばらしかった。どこもすばらしい職人技に驚かされました。(岡山県 40代 女性)
- ▶ どの工房も道具が大切に扱われ、又あるべき所にあるべき物が置かれていて、京都人の心意気を感じた。(京都市内 60代 女性)
- ▶ 京都らしい伝統産業の仕事ぶりを間近に見ることができて感動しました。すばらしい体験でした。または是非参加したいです。(中京区 50代 女性)
- ▶ 友禅以外の工房も見られたのがよかったです。(長岡京 40代 男性)
- ▶ 繁華街のそばに、このようなしっとりした場所があるとは、再発見です。(奈良県 50代 女性)
- ▶ 情緒があり、町がきれいに掃除されています。実家が節句のぼりを中心に染色業をしていて、今回も染色にふれてみたくて京都に来ていました。とても勉強になりました。(長崎県 20代 女性)
- ▶ 古いおうちや庭をきれいに手入れされている。(京都市内 30代 女性)
- ▶ 町内で行き交う人々が暖かく見てくれた。町内がきれい。古い町のよさを感じた。(京都市内 50代 女性)
- ▶ 地域の方が協力的で親切で、感じが良い。(兵庫県 50代 男性)
- ▶ お仕事の手を休めて、いろいろお仕事場を見せていただきましたこと、本当にありがとうございました。(中京区 50代 女性)
- ▶ すごくいいイベントだと思います。これからもぜひつづけて下さい!! (京都市内 20歳未満 女性)
- ▶ すごく楽しかったです。親切にしてくださいましてありがとうございました。(京都市内 30代 男性)
- ▶ ぜひとも来年もこういう企画をして下さい。今回は行けなかった場所も訪れたいと思います。(京都市内 30代 男性)
- ▶ 町中にいながら知らないことが沢山ありました。(本能学区 50代 女性)
- ▶ 普通みられないところが見られて参考になり、大変楽しかった (京都市内 50代 男性)
- ▶ 町を歩くとゆったりした気持ちになれる。思ってた以上に、すごく楽しかったです。直接生活に密接した生き生きしたお話がきけてよかったです。(京都市内 20代 女性)
- ▶ 来年も是非実施して頂きたい。もっと広告をしたら良いと思います。(中京区 20代 女性)
- ▶ イベントを開催することは大変なことと思いますが、皆さんのご熱心な受け入れに感心いたしました。地域が結束して、親切な工房開放、詳しい説明にお礼申し上げます。西陣も見習わなくては。染と織をもっと結びつけた和装振興になることをしたいですね。(京都市内 60代 男性)



公開工房にご協力をいただいた方々

中東盛染工(京友禅) 森田整理(湯のし) 多田商店(袴製造) 田井中染型店(染型製作) 岡田商店(京野菜細工) 神谷紙器工業(紙箱製造) 印染工房土山(引染) 池山(無地染) 鹿島紋章(紋上絵) 馬場染工(黒紋付染) 金彩荒木(金彩加工) 村田刺繍(刺繍紋章) 金彩松本(金彩加工) 林龍昇堂(お香製造) 中野紋糊(紋糊置) 三木漆器(漆器) 磯村友里(ミニチュアドールハウス) 三浦大幸堂(太鼓製造) 西脇(手織) 福本(糸目糊置) 中村和ローソク(和ローソク) 高岡(下絵) 順不同

公開工房ツアーを終えて



と時間に事情が許せば、公開に庭も面白いのではないかと思います。 漆工芸 三木表悦

今年初めての公開工房の参加でした。午前中4回、午後4回で参加者も小学生から熟年世代と幅広く、楽しい語らいもできました。日本<JAPAN>漆の話は珍しく、話に熱心に聞き入ってくれた様子です。地方からの参加者もあり、市内の中でも歴史に名高い本能学区(旧本能寺跡)に結びついて新しい魅力を展開できたと思う。京都には、伝統工芸が歴史都市だけに数多くあり、京漆はその中の一つで、特に漆に興味のある人達にしぼって案内していただければと思います。人数も、1回5~6人程度で、1日3~4回程度が理想的です。場所



「わあきれい」「すごいですね」お世辞とはわかっていても、うれしいやら恥ずかしいやら。「お手間入りでしょ」「集中力いりますよね」日々忙しさに流されて、仕事をこなしていただけの自分に少し反省。「この技術と伝統残していった下さいね」背筋がピンッと伸びる気分。まちづくり委員の皆様、ボランティアの皆様、ご苦労様でした。そしてに来ていただいたたくさんの参加者の皆様に、感謝!感謝!の二日間でした。 岡田商店

当社としては男紋付き染め工場ですので、やはり工場見学をしたいと希望される方が多く大変申し訳なく思いました。ただ、来年も実施されるのでしたら見学をして頂くよう考えますが、何回もに分けての見学が難しいように思います。(流れ作業ですので)しかし工場内の説明、また染色やお抹茶に何故この水が良いのかの説明をさせて頂き、少しは喜んで頂きました。二階の思い出工房では、ジーンズ・Tシャツ・携帯電話などに誕生花家紋他いろいろ自分で体験して頂く場であることを説明させて頂き、実際ハンカチに家紋の染めを一部の方に体験して頂き大変喜んで頂きました。 柳水町 馬場染工



昨年につづき今年も公開工房をさせていただきました。昨年より人数は少なかったものの、熱心に仕事を見ていただくことが出来ました。袴とか袴は普段あまり身近なものでないので、1人でも多くの人に見ていただける機会を与えていただいて大変感謝しております。短い時間ですので中はすべて見ていただけないのが残念ですが、来年も機会があれば公開工房に参加させていただきたいと思います。 多田商店

今回、初めて公開工房に参加し、17・18日と2日間予想以上の見学者で役員・ボランティアの方々にはお世話になりました。当日は線香製造・原材料の展示・説明と進めました。限られた時間の中で、まだまだ説明不足もあったと思います。真剣に話や「香」を聞いて下さり、少しでも香りに興味を持っていただければと思います。通常このような形で説明する機会がなく、貴重な経験をさせていただき感謝しております。 林龍昇堂 林慶治郎



此の度初めて公開工房に参加させて頂きました。毎日毎日やっている仕事とはいえ、皆さんに説明するとなると戸惑いがありました。あれも、これも、と考えましたが準備不足のまま当日を迎えました。説明不足や過剰説明等、やっとペースを掴んだら時は、最終の頃でした。皆様、大変お疲れ様でした。 糸目糊置 福本義孝

2年続けて公開工房に参加させていただきありがとうございます。金彩技法は約700年も前から延々と続いてきた技術で、その長い歴史の中のほんの一瞬私どもが携っています。私の父から受け継いだ技術を子供たちに伝えていきたいと思っていますが、見学に来ていただいた方々の中からも金彩の仕事をしたという人が1人でもいて下さったら非常に嬉しく思います。来年は、他の工房をゆっくりと廻らせてもらいたいと思います。 金彩荒木

私は公開工房にはお手伝いとして参加しましたが、本能学区のいろいろな職人さん達のお仕事の様子を見られることを楽しみにしていました。着物を着る機会が全くない私には、公開工房で見たお仕事の内容以前に、こんな仕事があったのか、という驚きが何度もあり、また、染め以外の工房も、さすが京都だな、と何度も感心しました。普段、見ることが出来ない光景を見ることが出来て、何だかとても得したような気持ちになりました。 京都府立大学宗田研究室4回生 北川真理

編集後記

今年のまち中を歩く日は、少し肌寒く、18日には、小雨混じりの中で行なわれました。私自身は、本能公園に電動セニアカーに乗ってお邪魔しました。子供たちの製作したアートフラッグが公園を見事に飾られ、和服姿のボランティアの人達とマッチしていました。公開工房の写真を全部そろえることができなかったことを、お詫びします。ツアーに参加された人達の感想を掲載することができました。M.O (協力: アンケート集計西村さん、写真富田さん)